



発行日：平成28年7月1日
発行所：市原市更級5丁目1-51
市原市立中央図書館
よくよむ
TEL 0436 (23) 4946
<http://www.library.ichihara.chiba.jp>



暑い夏！！図書館で有意義に過ごしてみませんか



図書館の閲覧席を 利用したい



7月19日(火)
から8月30日(火)の
個人閲覧席(No.31~47)
については、以下の方法に
よる先着順でのご利用(事
前予約不可)となります。
なお、6人掛けテーブル
席は受付不要でご利用いた
だけます。
○開館前の受付は、午前9時15分
から正面入口で行います。
○開館後は、中央カウンターで受け
付けます。

※公民館・コミュニティセンターの
閲覧席・学習室の利用については、
各施設へ直接お問合せください。
青少年会館は9:00~17:00の間、
学習室を開放しています。



自由研究、どうやって すすめたらいい？



誰もが悩む自由研究。やりたいけれど、
実際、何をすれば良いのかわからない??
そんな時には、図書館に来てください！
夏休み期間中は自由研究や工作に関する
本のコーナーを設けます。また、さがして
いるテーマに合う本が見つからない時は職
員がお手伝いをしますので、気軽に声をか
けてください。

トロッコ列車が絵本になりました！

『小湊鐵道沿線の旅 出発進行！里山トロッコ列車』



かこさとし
作・絵
偕成社刊

『からすのパンやさん』や『だるまちゃん
シリーズ』の作者、かこさとしさんが、小湊
鐵道のトロッコ列車の絵本を出版されました！
小湊鐵道の歴史から、沿線の町の歴史、観
光案内まで盛りだくさんの内容です。
絵本の案内に沿って市原を旅して、自由研
究のレポートを作ってみてはいかがでしょうか。



読書感想文【全国】【千葉県】コンクールの課題図書の出貸・予約について

課題図書は夏休み期間に利用が集中するため、以下のとおりとさせていただきます。

- 貸出・予約 1枚のカードで2冊まで
- 貸出期間 2週間(延長不可)

日本点字の父が、市原にいた！

ふるさと市原に輝く人物コーナー

いしかわ くらじ

「石川倉次」展 開催中！

い し か わ く ら じ



石川倉次先生之像
(鶴舞公民館)

1859(安政6)年、静岡県浜松市に生まれました。

父は浜松藩士。1868(明治元)年、藩主の国替にともない、家族で上総国鶴舞(現在の市原市鶴舞)に移り住むこととなりました。

1886(明治19)年、小西信八に懇願され、^{くんもうあいん}訓盲啞院の教師となり、ルイ・ブライユが考案した点字をもとに、日本の「かな」に適合した点字を研究し、1890(明治23)年に倉次の考えた点字が日本点字として採択されました。

その後も、点字器、点字タイプライターなどを開発や、点字の普及活動に力を注ぎ、1944(昭和19)年、疎開先の群馬県安中町で永眠。享年85歳。

■会場

- 1階 郷土・行政資料展示コーナー「ふるさと市原に輝く人物コーナー」
- 2階 展示ケース

■展示内容

図書：『石川倉次物語』・『闇を照らす六つの星 日本点字の父石川倉次』等

関連資料：「石川倉次の胸像」「日本の点字制定100周年記念」切手」等

*図書館での障がい者サービス案内も掲示しています。

■展示期間 平成28年6月1日(水)～8月30日(火)

開館時間中、閲覧自由 *2階は、水・金曜日は午後5時まで



市原市立中央図書館 障がい者サービスについて



▼障がい者サービスとは？

身体に障がいのある方だけでなく、図書館を利用するのに障がいのある方でしたら、どなたでもご利用いただけます。

▼障がい者サービスを利用するには？

- ・事前に登録が必要です。中央図書館までご連絡ください。
- ・登録できるのは、市原市にお住まいの方、通勤または通学されている方です。
- ・ご来館が難しい方は、郵送、ファックス、メールでの登録が可能です。

▼サービスメニュー

- ・対面朗読・音声読書器・拡大読書器
- ・大活字本・音声パソコン・音声DAISY
- ・音声DAISY図書再生機
- ・カセットテープ版録音図書・サピエ

▼大活字本とは

大きい文字(14～22ポイント)を使った本のことです。

視覚に障がいのある方だけでなく、どなたでもご利用いただけます。小さな文字が読みにくい高齢の方にも喜ばれています。

『六星照道 ～日本点字の父 石川倉次～』

ろくせいしょうどう

六星照道とは文字どおり、六つの星が道を照らすという意味のことばです。

ここでいう「六星」とは、点字に使われている六つの点のことです。

点字は、フランス人の軍人バルビエが考案した夜間戦争用の暗号から、15歳の視覚障がい者レイ・ブライユが創り出しました。縦長2点×3点の組合せで、アルファベットを表しています。ですからそのままでも、ローマ字表記で日本語を記すことができます。

しかし、私たちが使っている日本点字は、仮名表記です。なぜでしょう？

短いことばでも、アルファベットではたくさんの文字が必要となります。例えば、エレベーターのボタンにある「閉」をローマ字にすると「SHIME」となりますが、仮名なら「しめ」と二文字ですみます。こんな便利な点字を考案したのが、市原にゆかりのある教育者石川倉次でした。「日本点字の父」と呼ばれています。

石川倉次は、江戸時代も終わりに近い安政六年(1859)に、浜松藩士の家に生まれました。頭脳明晰で、師範にも一目置かれる好青年でした。九才の頃に大政奉還による藩主の国替があつて、今の市原市鶴舞に家族と共に移り住みました。間もなく、廃藩置県。藩士であつた父は無職に転じます。青年倉次は、このような時代の波に翻弄されながらも、鶴舞小学校を16歳で卒業すると、そのまま母校の助教師となり、その後も資格を取りながら教員としての道を歩みます。特に、仮名を積極的に評価する「かなの会」の活動に熱心に取り組み、そこで知り合った小西信八の勧めで、楽善会訓盲啞院の教員となつて日本点字の考案と普及に尽くしました。しかし、日本点字の考案は、一朝一夕になされたものではありません。八点点字の考案など、倉次の日記には、当時の苦勞が綴られています。

ある日のことでした。点字の形が、漢字の「目」にみえてきました。「そうだ！点字は視覚障がい者の目に代わるものだ！文字を知ることによって広い世界を知ることができる。」そのことに気がついた石川倉次は、六点凸字を「メ」とすることから日本点字を創っていきました。「六星照道」とは、石川倉次の創った点字そのものを表しています。

市原市立中央図書館では、点字図書のほか、録音図書など、視覚障がい者の方に向けたサービスも行っています。ご活用いただけたらと思います。(記 たま)



市原市立中央図書館 障がい者サービスについて



▼対面朗読とは？

対面朗読室で、希望の墨字資料（すみじ：点字に対して普通に書いたり印刷したりした文字のこと）を音訳ボランティアが読み上げ音声化します。

図書館の資料だけでなく、取り扱い説明書や手紙なども音声化することができます。音訳ボランティアの方には、読書の秘密、利用者のプライバシーを守る義務が課せられています。事前に中央図書館までご連絡いただき、希望日時、資料の内容をお知らせください。1回2時間程度を目安におこないます。

音訳ボランティアは、中央図書館で音訳者養成講座を修了した方に依頼しています。

▼身近に図書館を利用するのに困難な方がいらしたら・・・

図書館を使いたい、本が読みたいと思いながら、視覚に障がいがあったり、お体が不自由で図書館まで来館できなかつたり、図書館を利用するのに障がいのある方がいらっしゃいましたら、ぜひ中央図書館の障がい者サービスをお伝えください。

ビジネス支援コーナー

を開設しました！



ビジネス支援コーナー

市原市立中央図書館では、知の情報拠点として、市の産業振興を担う商工業振興課や市原商工会議所等と連携開始、創業・起業の支援をはじめとしたビジネス支援を行っていきます。

その一環として、レファレンスカウンター前に、ビジネスのヒントになる創業・起業に関する図書をはじめ、リーフレット等を配置した、ビジネス支援コーナーを開設しました。

また、コーナーと隣接する情報端末では、日本経済新聞など日経四紙の記事を 1975 年から検索できる「日経テレコン 2 1」や法情報総合データベースの「D1-Low.com」（第一法規）といったオンラインデータベースを利用することができます。

**いちはらっ子読書フェスタ 2016 を
4 月 23 日（土）～5 月 12 日（木）
に開催しました。ご参加いただいた、
イベントの一部を紹介します！**

《人形劇》



いちはらっ子読書フェスタ 2016
四角い まあるい心
本に
2016.4.23～5.12

人形劇団 Z による人形劇が今年もやってきて『ジャックと豆の木』・『かえるのダンス』の 2 本が演じられました。66 名の参加で大盛況。最後は、カエルと一緒に「輪になって踊ろう」をみんなで歌い踊りました。

《ぬいぐるみ おとまり会》



30 体のぬいぐるみが図書館にお泊りしました。いつも仲良く遊んでいる我が家のお友達のために、素敵な絵本を選びました。子ども達はぬいぐるみとの再会と、絵本に大喜びでした！

《英語でお話会》



湖畔美術館ジョーイ・リー氏によるお話会が開催されました。お話会とワークショップの 2 本立て。英語に工作！31 名のみんなは、一生懸命取り組んでいました。

■ これからも、たくさんの本と一緒に、みなさまのご来館をお待ちしております。 ■

ふるさと市原を知る本

『市原の古文書研究』

第 1 集～第 6 集
市原の古文書研究会/編集

市原市の八幡・五井地区は、かつて、地域の中心地でしたが、伝来の古文書・記録類は高潮や火災等によって、失われたものも多く、地域史に空白の部分が見られました。そのような中で、

『市原の古文書研究』は、“市原の古文書研究会”が、各地区の元名主宅、古くからの商家、寺社等の史料調査を実施し、新史料の掘り起こしをした、その調査・研究結果をまとめたものです。

貴重な地域の史料が満載です。是非ご活用ください。



市原の古文書研究
第 6 集

“市原の古文書研究会”は、平成 27 年 11 月に、今までの活動が評価され、千葉県文化財保護協会より、文化財保護功労者として表彰されました。

《中央図書館利用案内》



★開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
※水・金曜日は一般開架室のみ午後 7 時まで
ただし、祝日の場合は除く
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後 5 時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10 冊まで
視聴覚資料 2 点までいずれも 2 週間

★休館日 毎週月曜日
毎月平日最終日（月末図書整理日）
特別整理期間（蔵書点検等）
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
★初めてカードを作るには
住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。